

神戸市会議長  
守屋 隆司 様

「自民党神戸」市会議員団の政務活動費不正支出問題についての申し入れ

2015年8月12日  
日本共産党神戸市会議員団  
団長 松本 のり子

神戸市議会の「自民党神戸」市会議員団による政務活動費不正支出問題は、調査委託名目で支出した約1120万円を、この春に行われた市議会議員選挙で「陣中見舞い」として現職議員ら16人に渡されていたことがあきらかになりました。

「自民党神戸」市会議員団が、カンステインターナショナルに調査委託名目で支出した約1120万円を、3月末に現職議員12人に1020万円、新人候補5人に100万円渡したとしています。当時の会派代表の浜崎為司議員もこのことを認め、代表者会議では「議員団総会で封筒に入れて渡した」と発言しています。渡された現職議員のうち一人は翌日に返金、新人の内一人には渡されていません。不透明支出が問題になってから、受け取った議員らが返金、代表者会議までに10人から返金されたとしています。未返還分も含め、大野議員が全額、神戸市に返還しています。

浜崎議員は「原資については、大野議員がつくってくれたものと思っていた。政務活動費とは知らなかった」などとしています。しかし、故・大野議員の代理人の阪本弁護士は「誰に配るか、それぞれにいくら渡すか、大野議員は関与していない」とされており、誰が関与したのかなど、疑惑は一層深まっています。

また、お金を受け取ったほとんどの議員が、不透明支出が明らかになった時点で返金していることから、こうした現金のやり取りが常態化していたのではないかとの疑惑も出ています。

クレバースリーに関する疑惑も含めて、明らかになった事実は、神戸市会の信頼を根底から突き崩すことにもつながりかねないものです。市民の信頼を取り戻すには、議会として真摯に真相解明に取り組み、再発防止策を講じることが不可欠です。そのためにとるべき対応として、下記の点を申し入れますので対応をよろしくお願いいたします。

記

- 1 議会として「自民党神戸」の会派をはじめ、不正支出に関係した人たちを刑事告発すること。
- 2 議会として真相解明を進めるため、百条調査権を付与した特別委員会を設置すること。

以上